



ライセンス

- [ライセンス](#) (1 ページ)
- [Unified Communications Manager ライセンス](#) (2 ページ)
- [ライセンス コンプライアンス](#) (4 ページ)
- [ユーザのみのライセンス](#) (4 ページ)
- [デバイスのみ](#) (4 ページ)
- [ユーザとデバイス](#) (5 ページ)
- [ユーザあたりの最大デバイス数](#) (13 ページ)
- [TelePresence Room ライセンス](#) (14 ページ)
- [ライセンスの代替](#) (14 ページ)
- [ライセンス処理のシナリオ](#) (15 ページ)
- [ユーザの追加](#) (15 ページ)
- [関連付けられていないデバイスの追加](#) (15 ページ)
- [関連付けられたデバイスを持つユーザの追加](#) (16 ページ)
- [ユーザあたりのデバイス数](#) (17 ページ)
- [ライセンスの使用状況レポート](#) (17 ページ)
- [Cisco Unified Reporting](#) (18 ページ)

ライセンス

Cisco Unified Communications Manager のライセンスは、Cisco Unified Communications ライセンスの全体的な商用オファーの一部です。

		User Connect Licensing (Essential)	User Connect Licensing (Basic)	User Connect Licensing (Enhanced/Enhanced Plus)	Unified Workspace Licensing
Cisco Unified CM の機能	モバイルコネクタ (SNR)	利用不可	同梱	同梱	同梱

		User Connect Licensing (Essential)	User Connect Licensing (Basic)	User Connect Licensing (Enhanced/Enhanced Plus)	Unified Workspace Licensing
デバイス サポート	デバイス数	1	1	1/2	10
	デバイスタイプのサポート	アナログ/音声（詳細については、 ユーザとデバイスの表を参照 ）	音声（詳細については、 ユーザとデバイスの表を参照 ）	音声（詳細については、 ユーザとデバイスの表を参照 ）	音声（詳細については、 ユーザとデバイスの表を参照 ）
	ユーザ プロファイルの数	1	1	1	1
クライアント	Jabber Mobile	利用不可	利用不可	同梱	同梱
	Jabber Desktop	利用不可	利用不可	同梱	同梱
	Jabber IM/Presence	同梱	同梱	同梱	同梱
アプリケーション	Webex Meetings	アドオン	アドオン	アドオン	含まれる
	Webex Social	アドオン	アドオン	アドオン	含まれる
	Unity Connection	アドオン	アドオン	アドオン	含まれる
	Cisco Unified CM	同梱	同梱	同梱	同梱

Cisco Unified Communications Manager のライセンスは、設定されているユーザ、ユーザ機能、およびデバイスの総数によって決まります。Cisco Unified Communications Manager は、（ユーザ機能と関連デバイスを含む）ユーザおよびシステムに設定されているデバイスの合計数に基づいてライセンス使用量を計算します。Cisco Unified Communications Manager は、ライセンスの合計使用量（パブリッシャごと）を Cisco Smart Software Manager に報告し、ライセンスコンプライアンスまたは非コンプライアンスステータスを取得します。

Unified Communications Manager ライセンス

Cisco Unified Workspace Licensing (UWL)： シンプルなパッケージにより、幅広いシスコのコラボレーションアプリケーションおよびサービスにコスト効率よくアクセスできます。このパッケージには、ソフトクライアント、アプリケーションサーバソフトウェア、およびユーザごとのライセンスが含まれています。

Cisco User Connect Licensing (UCL) は、個々の Cisco Unified Communications 製品のユーザベースのライセンスです。これには、ソフトクライアント、アプリケーションサーバーソフトウェアライセンス、および基本的なユニファイドコミュニケーションアプリケーションが含まれます。ニーズと選択したデバイスに応じて、UCLは Essential、Basic、Enhanced、または Enhanced Plus で使用できます。

Unified Communications Manager のライセンスタイプは次のとおりです。

UC Manager Essential	Essential User Connect License: 基本的な音声またはアナログデバイス（電話またはファックス）を提供する1つのデバイスをサポートします。（例：アナログ電話、ATA 186、ATA 187、Cisco 3905、Cisco 6901）
UC Manager Basic	基本ユーザ接続ライセンス: すべての Essential デバイスと基本（音声およびビデオ）コール制御機能を含む1つのデバイスをサポートします。（例：Cisco 6911、Cisco 6921）
UC Manager Enhanced	拡張ユーザ接続ライセンス: すべての Basic デバイスに加え、デスクトップ、モバイルクライアントなどの高度な（音声およびビデオ）コール制御機能をサポートします。（例：Cisco 3911、Cisco 3951、Cisco 6941、Cisco 6945、Cisco 6961、Cisco 79xx、Cisco 89xx、Cisco 99xx、Cisco E20、Cisco TelePresence EX60、Cisco TelePresence Ex90、サードパーティ製 SIP）。
UC Manager Enhanced Plus	Enhanced Plus User Connect ライセンス: すべての Enhanced デバイスを含む、最大2つのデバイスをサポートします。
UC Manager CUWL	デスクトップおよびモバイルを含む高度な（音声およびビデオ）コール制御機能をサポートします。プロフェッショナルなコラボレーションワークスペースアプリケーション機能は、ユーザ1人あたり最大10台です。
UC Manager TelePresence Room	TelePresence Room ライセンス-ルームベースの没入型および多目的の Cisco TelePresence System エンドポイントと Spark Room をサポートします。（例：Cisco TelePresence System シリーズ 3200、3000、1300、Cisco TelePresence MX シリーズ、Cisco TelePresence TX シリーズ、Cisco TelePresence System Profile シリーズ）

ライセンス コンプライアンス

Unified Communications Manager は、最初にインストールされたとき、Cisco Smart Software Manager に正常に登録されるまで、90 日間の評価期間、デモンストレーションモードで完全に動作します。登録後、Unified Communications Manager は Cisco Smart Software Manager と定期的に通信します。Unified Communications Manager は、ライセンスタイプごとの合計ライセンス要件を Cisco Smart Software Manager に報告し、ライセンスステータスを返します。

Unified Communications Manager の非準拠状態のライセンスは、90 日間の超過期間の後に適用されます。猶予期間が終了すると、Unified Communications Manager は次のサービス低下の非準拠を強制します。

デバイスとユーザはプロビジョニングできません。ライセンスに影響するユーザの設定を変更することはできません（たとえば、[IM and Presence の有効化/無効化（Enable / Disable IM and Presence）]および[モビリティの有効化/無効化（Enable/Disable Mobility）]チェックボックス）。

スマートライセンス操作については、[Cisco Unified Communications Manager システム設定ガイド](#)を参照してください。

ユーザのみのライセンス

ユーザがシステムで設定され、デバイスに関連付けられていない場合、そのユーザはデバイスを所有せず、「ユーザのみ」になります。ユーザがデバイスの [OwnerUserID] フィールドに入力されている場合、ユーザはデバイスに関連付けられているか、デバイスを所有しています。デバイスに関連付けられていないユーザについては、[ユーザのみ]のライセンスが[ユーザとデバイスのサポート]の表に表示されます。

システムにユーザを追加するだけでは、そのユーザがデバイスを所有していないか、またはライセンスユーザ機能を使用していない場合、ライセンスは消費されません。ただし、ユーザにライセンスユーザ機能が設定されている場合、またはそのユーザがデバイスを所有している場合、ユーザはライセンスを消費します。現在ライセンスされている機能は、モバイルコネクト（モビリティまたはシングルナンバーリーチまたは SNR）です。

ユーザのモバイルコネクト（またはモビリティまたはシングルナンバーリーチ）は、デバイス所有者（ユーザ ID フィールド）として設定されたエンドユーザを使用してリモート接続先プロファイル（RDP）が作成された場合に設定されます。

デバイスのみ

デバイスが Cisco Unified Communications Manager に追加され、[デバイス設定（Device Configuration）] ウィンドウに [OwnerUserID] フィールドのエントリがない場合、そのデバイスはユーザに割り当てられていないか、「デバイスのみ」と呼ばれます。「デバイスのみ」デバイスのライセンスは、Cisco Unified Communications Manager のライセンス - ユーザおよびデバイスのサポートの表に記載されています。デバイスが Cisco Unified Communications Manager に追加され、OwnerUserID のエ

ントリがない場合、デバイスは、[ライセンス - ユーザおよびデバイスサポート (Licensing-User and Device Support)] の表にあるように、デバイスタイプによって決定される最小ライセンスタイプを必要とします。

ユーザとデバイス

デバイスがユーザに割り当てられるか、ユーザに関連付けられると、デバイスの [OwnerUserID] フィールドにユーザ ID を入力することにより、そのユーザとデバイスのライセンス要件は、デバイスのタイプとユーザに割り当てられたデバイスの数によって決まります。1 つのデバイスを所有するユーザの場合、そのユーザのユーザ ID が OwnerUserID として 1 つの Essential デバイス (3905、6901、またはアナログデバイスなど) に追加されている場合、必要なユーザおよびデバイスの最小ライセンスは Essential ライセンスです。つまり、1 つの Essential ライセンスでユーザとデバイスの両方がサポートされます。代わりに、そのユーザのユーザ ID が OwnerUserID として 1 つの Basic デバイス (6911 や 6921 など) に追加される場合、必要なユーザとデバイスの最小ライセンスは 1 つの Basic ライセンスになります。ユーザのユーザ ID が OwnerUserID として 1 つの拡張デバイスに追加される場合、必要なユーザおよびデバイスの最小ライセンスは Enhanced ライセンスです。

複数のデバイスを所有するユーザの場合、最小ライセンスは、ユーザが所有するデバイスの数によって決まります。Cisco Unified Communications Manager のライセンステーブルには、サポートされるユーザライセンスあたりのデバイスの最大数が表示されます。2 つのデバイスを所有するユーザには、少なくとも Enhanced Plus ライセンスが必要です。3 つ以上のデバイスを所有するユーザには、少なくとも CUWL ライセンスが必要です。

Cisco Unified Communications Manager のライセンス: ユーザおよびデバイスのサポートの表は、ユーザのみ、デバイスのみ、およびユーザとデバイスの Cisco Unified Communications Manager ライセンスをまとめたものです。

表 1: Cisco Unified Communications Manager のライセンス: ユーザおよびデバイスのサポート

License Type	デバイスのみ	ユーザとデバイス	ユーザのみ
UC Manager Essential	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified SIP Phone 3905 • Cisco Unified IP Phone 6901 • アナログ デバイス 	1 つの Essential デバイスを持つユーザ。	該当なし

License Type	デバイスのみ	ユーザとデバイス	ユーザのみ
UC Manager Basic	Cisco Unified IP 電話 6911 および 6921 モデル または UC Manager Essential ライセンスタイプの任意のデバイス。	1つの基本デバイスを持つユーザ。 または UC Manager Essential ライセンスタイプのユーザおよび関連デバイス。	シングルナンバーリーチを使用しているユーザ（Mobile Connect） または UC Manager Essential ライセンスタイプを持つユーザ。

License Type	デバイスのみ	ユーザとデバイス	ユーザのみ
UC Manager Enhanced		1つの Enhanced デバイスを持つユーザ。 または UC Manager Essential または UC Manager Basic ライセンスタイプのユーザおよび関連付けられたデバイス。	該当なし

License Type	デバイスのみ	ユーザとデバイス	ユーザのみ
	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified IP Phone 3911, 3941, 3951 • Cisco Unified IP Phone 6941, 6945, and 6961 モデル • Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズ (7900G、7911G、7912G、7941G、794xG、796xG、および 7975G モデル) • Cisco Unified IP Phone 8900 シリーズ (8941、8945、および8961モデル) • Cisco Unified IP Phone 9900 シリーズ (9951および 9971モデル)、カメラあり/なし • Cisco Unified Wireless IP Phones シリーズ (792xG and 7925G-EX モデル) • Cisco Unified IP Conference Stations (7936G および 7937G stations) • Cisco Unified Softphones (Cisco Unified Personal Communicator、Cisco UC Integration for Lync、Cisco UC Integration for Connect、および Cisco IP Communicator) 		

License Type	デバイスのみ	ユーザとデバイス	ユーザのみ
	<ul style="list-style-type: none"> • Jabber clients (Jabber for Mac, Jabber for Windows, Jabber for iPhone, Jabber for Android, Jabber for iPad, およ び Jabber SDK) • 音声・動画ファームウェア搭載 Cisco Virtual Experience Client (VXC) • Cisco IP Video Phone E20 • Cisco TelePresence System EX シリーズ (EX60 および EX90) • サードパーティ製 SIP デバイス • Cisco Desktop Collaboration Experience DX600 シリーズ • Transnova S3 • Cisco Spark Room デバイス • IMS <p>または</p> <p>UC Manager Essential または UC Manager Basic ライセンスタイプのデバイス。</p>		

License Type	デバイスのみ	ユーザとデバイス	ユーザのみ
UC Manager Enhanced Plus	該当なし	2つのデバイスを持つユーザ。 または UC Manager Essential、UC Manager Basic、UC Manager Enhanced、または UC Manager Enhanced Plus ライセンスタイプのユーザおよび関連デバイス。	該当なし

License Type	デバイスのみ	ユーザとデバイス	ユーザのみ
UC Manager TelePresence Room License		1つの UC Manager TelePresence Room デバ イスが関連付けられて いるユーザ。	該当なし

License Type	デバイスのみ	ユーザとデバイス	ユーザのみ
	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco TelePresence System 500 シリーズ • Cisco TelePresence System 1100 • Cisco TelePresence システム 1300 シリーズ • Cisco TelePresence System 3000 Series • Cisco TelePresence System 3200 シリーズ • Cisco TelePresence TX9000 シリーズ (X9000, TX9200) • Cisco TelePresence TX1300 シリーズ • Cisco TelePresence System プロファイルシリーズ (42 インチ 6000 MXP、52 インチ MXP、52 インチ Dual MXP、65 インチ、65 インチ Dual) • Cisco TelePresence System Codecs C90/C60/C40 • Cisco TelePresence System Quick Set C20 • Cisco TelePresence MX シリーズ (MX300 および MX200) • Cisco TelePresence 1000 • Cisco TelePresence 		

License Type	デバイスのみ	ユーザとデバイス	ユーザのみ
	SX シリーズ <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Webex Devices • Generic Desktop Video Endpoint • Generic Multiple Screen Room System • Generic Single Screen Room System 		

[**デバイスのみ (Device Only)**] は、Cisco Unified Communications Manager で設定された、ユーザの関連付けがないデバイスを意味し、[OwnerUserID] フィールドは空白です。

ユーザとデバイスとは、ユーザが関連付けられている Cisco Unified Communications Manager で設定されたデバイスを意味し、OwnerUserID フィールドには登録済みのユーザIDがあります。

ユーザのみとは、ユーザに関連付けられたデバイスを持たない Cisco Unified Communications Manager で設定されたユーザを意味します。そのユーザ ID は、Cisco Unified Communications Manager デバイスの OwnerUserID として検出されません。

上の表の太字のテキストは、リストされているライセンスタイプの使用可能なライセンスが下位レベルのライセンス要件を満たすために使用される可能性がある場合に、デバイスがライセンス置換によってサポートされることを示します。これは、Cisco Smart SoftwareManager で実行されます。



(注) MGCP FXS ポートは、アナログ電話とは見なされないため、ライセンスは必要ありません。

ユーザあたりの最大デバイス数

Essential、Basic、および Enhanced ライセンスは、1つのデバイスの OwnerUserId フィールドにユーザの ID が入力されている、1つの関連付けられたデバイスを持つユーザをサポートします。

Enhanced Plus ライセンスは、2つの関連付けられたデバイスを持つユーザをサポートします。UWL は、3〜10個の関連デバイスを持つユーザをサポートします。

TelePresence Room ライセンス

多目的およびイマーシブ TelePresence デバイスは、TelePresence Room ライセンスと呼ばれる別のデバイスライセンスタイプでライセンスされます。TelePresence Room ライセンスは、TelePresence デバイスと電話機の [OwnerUserID] フィールドに同じユーザ ID が入力されている場合にのみ、Cisco Unified Communications Manager に登録されている TelePresence デバイスと電話機の両方を対象とします。TelePresence デバイスと電話機の両方で同じ Userid が OwnerUserID として入力されていない場合、デバイスは関連付けられず、デバイス用の TelePresence Room ライセンスと電話機用の Enhanced の2つのライセンスが必要です。TelePresence タッチデバイスは Cisco Unified Communications Manager に登録されないため、個別のライセンスまたは OwnerUserID の関連付けは必要ありません。

ライセンスの代替

Cisco Smart Software Manager (CSSM) では、コンプライアンスを可能にするために、使用可能なライセンスを段階的にライセンスに置き換えることができます。使用可能な上位レベルのライセンスは、下位レベルのライセンス要件を満たすために代替または貸与されます。たとえば、顧客に 100 の UC Manager CUWL ライセンスがインストールされているが、Cisco Unified Communications Manager が 10 CUWL ライセンスと 50 UC Manager Enhanced Plus ライセンスのライセンス要件を報告している場合、CSSM は 100-10 または 90 UC Manager CUWL があると計算します。下位の階層に貸し出すことができます。90 個の UC Manager CUWL の使用可能なライセンスのうち、50 個の CUWL が 50 個の Enhanced Plus ライセンスの要件を満たすために使用されます。CSSM には、使用可能な 40 の UC Manager CUWL ライセンスが表示されます。



- (注) Cisco Smart Software Manager オンプレミス (Cisco SSM オンプレミス) または Smart Software Manager サテライトを Unified Communications Manager でライセンスに使用する場合、CSSM では、Cisco SSM オンプレミスと比較して、ライセンス階層置換の内訳の表示方法に違いがあります。Unified CM のライセンス認証ステータスが [コンプライアンス違反 (Out of Compliance)] の場合の不十分なライセンス情報の詳細については、Cisco SSM オンプレミス ユーザー インターフェイスを参照してください。詳細については、CSCwf47221 を参照してください。



- (注) 仮想アカウントが直接通信を使用して製品インスタンスですでに使用されており、特定のライセンス予約用に予約されているライセンスの場合、使用可能なライセンス数が正しく表示されません。詳細については、CSCwf47223 を参照してください。

ライセンス処理のシナリオ

次のライセンスシナリオでは、ライセンス要件が発生する Cisco Unified Communications Manager Administration の設定変更について説明します。

ユーザの追加

エンドユーザ設定または一括管理ツールを使用して Cisco Unified Communications Manager Administration に新しいユーザ（UserA）を最初に追加するときに、ユーザが [モビリティの有効化（Enable Mobility）] の下にリモートデバイスプロファイルを持っていない場合、新しいユーザにはライセンスは必要ありません。

[Enable Mobility] でリモート接続先プロファイルが設定された新しいユーザ（UserB）を Cisco Unified Communications Manager に最初に追加する場合、新しいユーザ UserB には基本ライセンスが必要です。

ユーザ ID	ライセンスのユーザ機能	ライセンスが必要です	注
UserA	なし	なし	割り当て済みデバイスなしで
UserB	モビリティ	基本	割り当て済みデバイスなしで

関連付けられていないデバイスの追加

新しいデバイスが Cisco Unified Communications Manager に登録され、そのデバイスの [OwnerUserID] フィールドにユーザ ID が入力されていない場合、デバイスはユーザに関連付けられておらず、関連付けられていないデバイスにはデバイスタイプごとのライセンスが必要です。『Cisco Unified Communications Manager Licensing-User and Device Support』の表に記載があります。たとえば、Device6901 が追加され、Essential ライセンスが必要です。Device6921 が追加され、Basic ライセンスが必要です。DeviceEX60 が追加され、Enhanced デバイスが必要です。

現在、Enhanced Plus、CUWL Standard、または CUWL Professional ライセンスを必要とするデバイスはありません。したがって、Cisco Unified Communications Manager には、Enhanced Plus 以上のライセンスを必要とする関連付けられていないデバイスの要件は表示されません。

表 2: デバイスのみのライセンス要件の例

デバイス	ライセンスが必要です	注
Device6901	UC Manager Essential	OwnerUserID なし

デバイス	ライセンスが必要です	注
Device6921	UC Manager Basic	OwnerUserID なし
DeviceEX60	UC Manager Enhanced	OwnerUserID なし

関連付けられたデバイスを持つユーザの追加

デバイスが追加されたときに、デバイスがユーザに関連付けられている場合、ユーザとデバイスはライセンスを共有します。ユーザごとに1つのデバイスの場合、必要なライセンスは、必要なユーザライセンスまたはデバイスライセンスのうち大きい方です。次のシナリオでは、ユーザごとに1つのデバイスのデバイスとユーザの関連付けのさまざまな組み合わせを確認します。

ユーザに関連付けられている必須デバイス

Device6901（Essentialデバイス）が UserA に割り当てられている場合、OwnerUserID = UserA を入力すると、デバイスとユーザの両方が1つの Essential ライセンスでサポートされます。

ただし、Device6901（Essentialデバイス）が UserB（Basicユーザ）に割り当てられている場合、OwnerUserID = UserB を入力すると、デバイスとユーザの両方が1つの Basic ライセンスでサポートされます。

ユーザに関連付けられた基本デバイス

Device6921（Basicデバイス）が、OwnerUserID = UserA と入力して UserA に割り当てられている場合、デバイスとユーザの両方が1つの Basic ライセンスでサポートされます。同様に、Device6921（Basicデバイス）が、OwnerUserID = UserB と入力して UserB（Basicユーザ）に割り当てられている場合、デバイスとユーザの両方が1つの Basic ライセンスでサポートされます。

ユーザに関連付けられた拡張デバイス

ほとんどの物理的な電話、ソフトクライアント、およびEX60やEX90などのデスクトップビデオデバイスは、Enhanced デバイスレベルに含まれています。DeviceEX60（拡張デバイス）が、OwnerUserID = UserA と入力して UserA に割り当てられている場合、デバイスとユーザの両方が1つの Enhanced ライセンスでサポートされます。同様に、OwnerUserID = UserB と入力して DeviceEX60（拡張デバイス）を UserB（基本ユーザ）に割り当てると、デバイスとユーザの両方が1つの Enhanced ライセンスでサポートされます。

表 3: ユーザとデバイスのライセンス要件の例

デバイス	OwnerUserID	ライセンスのユーザ機能	ライセンスが必要です
Device6901	UserA	なし	UC Manager Essential
	UserB	モビリティ	UC Manager Basic

デバイス	OwnerUserID	ライセンスのユーザ機能	ライセンスが必要ですか
Device6921	UserA	なし	UC Manager Basic
	UserB	モビリティ	UC Manager Basic
DeviceEX60	UserA	なし	UC Manager Enhanced
	UserB	モビリティ	UC Manager Enhanced

ユーザあたりのデバイス数

上記のユーザとデバイスの例は、ユーザが1つのデバイスに関連付けられている場合にのみ適用されます。この場合、ユーザIDは1つのデバイス設定の [OwnerUserID] フィールドにあります。ユーザが複数のデバイスに関連付けられている場合、デバイスタイプに関係なく、より高いレベルのライセンスが必要です。

UserA が1つのデバイスの OwnerUserID に割り当てられている場合は、上記のシナリオが適用されます。ただし、UserA に2つのデバイスの OwnerUserID が割り当てられている場合、ユーザと2つの関連付けられたデバイスの両方に1つの Enhanced Plusライセンスが必要です。UserA に3つ以上のデバイスの OwnerUserID が割り当てられている場合は、1つの UWL Standard ライセンスが必要です。UserA には、1つの UWL Standard ライセンスで最大10台のデバイスを割り当てることができます。10人を超えるデバイスが1人のユーザに割り当てられている場合、ユーザは1つの UWL Standard ライセンスを必要とし、追加デバイス用の追加ライセンスも必要です。

ライセンスの使用状況レポート

使用状況の詳細情報は、ライセンスタイプ、ユーザ、および未割り当てのデバイス別に入手できます。使用状況情報は、6時間ごとに更新されるほか、[使用状況の詳細の更新 (Update Usage Details)] をクリックすることによって手動で更新することもできます。[使用状況の詳細の更新 (Update Usage Details)] 機能は、リソースを集中的に使用するプロセスであり、システムの規模によっては数分かかる場合があります。[すべてのライセンスタイプの説明とデバイスの分類の表示 (View all license type descriptions and device classifications)] に Unified Communications のライセンス情報を確認するためのリンクがあります。

ステータスメッセージは、アラームまたはライセンスアラート (ライセンスコンプライアンス違反) が発生した場合に表示されます。ステータスメッセージの詳細については、アラームのアラートとライセンスステータス通知を参照してください。ライセンスのコンプライアンスとコンプライアンス違反の詳細については、ライセンスコンプライアンスを参照してください。

[ライセンス要件 (タイプ別) (License Requirements by Type)] 表には、現在のシステムライセンスの要件が表示されます。この表では、ライセンスタイプ別の現在のライセンスの使用状況 (必要なライセンスの数) が表示され、ライセンスが必要なユーザと未割り当てのデバイスの数がライセンスタイプ別に報告されます。ライセンスタイプ別の [レポート (Report)] リンクがユーザ

(の数) または未割り当てのデバイス (の数) ごとに表示され、ドリルダウンリンクとして機能します。[ユーザ (User)] レポートでは、[ユーザ ID (user id)] リンクがユーザ ID 別のユーザ設定の詳細を提供します。[詳細表示 (view details)] リンクは、ユーザ ID 別のライセンス要件を提供します。[未割り当てのデバイス (Unassigned Devices)] レポートでは、未割り当てのデバイスごとに必要なデバイス タイプとライセンス タイプが表示されます。

ライセンスの使用状況レポートは、[ユーザと未割り当てのデバイス (Users and Unassigned devices)] で絞り込んで表示することもできます。[ユーザ (Users)] 行には、システム上で設定されたユーザの総数が一覧表示されます。ユーザに関する [使用状況レポートの表示 (View Usage Report)] は、システム上で設定されたすべてのユーザと対応するライセンス要件に関するレポートを提供します。未割り当てのデバイスに関する [使用状況レポートの表示 (View Usage Report)] は、未割り当てのデバイス (ユーザに関連付けられていないデバイス) の総数を表示します。



- (注) Cisco Unified Communications Administration を使用してデバイスにユーザ ID を割り当てると、ライセンスの使用状況レポートの [未割り当てのデバイス (Unassigned Devices)] から [ユーザ (Users)] にデバイスが移動されます。ただし、ユーザの管理対象デバイスのリストにデバイスを追加しても、そのデバイスに関する [ライセンスの使用状況レポート (License Usage Report)] は変更されません。

Cisco Unified Reporting

Cisco Unified Communications ソリューションの Cisco Unified Reporting コンソールから次のレポートを使用できます。

1. Cisco Unified Communications Manager Administration のログインページのナビゲーションバーで、[Cisco Unified Reporting] をクリックします。
2. システムレポートを選択します。
3. Unified CM デバイスカウントサマリを選択します。

生成されたレポートには、クラスタごとに、デバイス数がモデル別に要約されます。

1. Cisco Unified Communications Manager Administration のログインページのナビゲーションバーで、[Cisco Unified Reporting] をクリックします。
2. システムレポートを選択します。
3. Unified CM ユーザデバイスカウントを選択します。

生成されたレポートは、クラスタごとに、ユーザとユーザの関係について、ユーザのいない電話機、1 台の電話機を持つユーザ、および複数の電話機を持つユーザの数を要約します。

1. Cisco Unified Communications Manager Administration のログインページのナビゲーションバーで、[Cisco Unified Reporting] をクリックします。
2. システムレポートを選択します。

3. Unified CM ユーザデバイスカウントを選択します。

生成されたレポートは、クラスタごとに、ユーザとユーザの関係について、ユーザのいない電話機、1台の電話機を持つユーザ、および複数の電話機を持つユーザの数を要約します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。